

あかね雲



2014. 1.31

No.139

CONTENTS

◆会長挨拶……………P1	◆新カリキュラムで認定看護管理者教育スタートしました…P2	◆医療・看護安全情報……………P5
◆島根県看護協会の主な動き……………P1	◆支部活動……………P3	◆認定看護師の紹介……………P6
◆理事会報告……………P1	◆委員会活動……………P4	◆ナースセンターだより……………P7.8
◆職能委員会活動……………P2	◆トピックス……………P5	◆ホットひといき……………P9

湧水^{ゆうすい} 和顔施

公立邑智病院 三浦 瞳

和顔施は「いつも 穏やかでやさしい心でいよう」という意味で、病院の渡り廊下の角を曲がると、この書が飛び込んできます。

郡内唯一の急性期・救急病院として、邑智地域の皆様の安心を担うため、職員同士がお互いのやりが

いと誇りを尊重し合う暖かい職場づくりを目指しています。高齢化率40%のこの地域だからこそ、質の高い看護を目指しつつ、老人看護・継続看護を大事にしたいと努力しています。新年を迎え、診療報酬改定の年になりました。地域の小規模病院にとってさらに厳しくなっていますが、「和顔施」をいつも心に、職員一人一人が経営を意識しながら目標を掲げ、自立した病院づくりを目指しています。



発行／公益社団法人島根県看護協会
発行責任者／春日 順子 編集／広報委員会

新たな年に寄せて

公益社団法人島根県看護協会 会長 春日 順子



梅のつぼみも膨らみかけ春の訪れを感じるころとなりました。

平成26年の年頭にあたり一言ごあいさつ申し上げます。皆さまには、日ごろより協会活動に温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本会は、公益社団法人として2年目を迎えました。県民の健康な生活の実現を基本理念に平成25年度事業は、計画どおりに進んでいます。協会員は、5,476人(入会率47.6%)。医療・看護をめぐる諸問題に対し、会員自らが自主的に運営する専門職団体として知恵と力を結集し、社会への責任を果たさねばならないと考えます。

国では、高齢化社会の急速な進展とともに2025年を見据え、社会保障制度改革国民会議報告書が取りまとめられま

した。「医療機能の分化・連携」「地域包括ケアシステムの構築」「医療人材の確保(特定行為に係る看護師の研修制度、看護職員の確保、勤務環境の改善等への取組)」など、様々な医療提供体制の整備が進められようとしています。

そのような中、協会の活動では、看護の質の向上を図るためクリニカルラダー1~4を設定し段階別教育を実施、看護職の確保定着推進事業として、ワーク・ライフ・バランス推進、新たにハローワークと連携した無料職業紹介の実施、日本看護協会との連携による助産師出向支援モデル事業など行いました。また、昨年の集中豪雨では多くの方が被災され、大規模災害時における災害支援のあり方について考えさせられました。3月には、島根県及び関係団体と災害時医療看護活動に関する協定書を締結する予定です。

「千里の道も一歩から」という諺があります。どんなに大きな仕事でも身近なことから始め、積み重ねて努力すれば成し得るとの意、会員の皆さまとともに、しっかりと計画し実行したいと思えます。皆さまの健康と今後ますますのご活躍を祈念いたします。

島根県看護協会の主な動き(11・12月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場所
日本看護協会事業	11月25日(月)	日本看護学会運営会議	三代理事	JNAホール
	11月28日(木)	日本看護協会理事会(~29)	春日会長	JNAホール
	12月 2日(月)	都道府県看護協会事務担当者地区別勉強会	村土局長、石原経理主任	香川県看護協会
	12月 9日(月)	全国准看護師制度担当役員会議	浅草准看護師理事	JNAホール
島根県看護協会事業	11月 1日(金)	助産師出向支援モデル事業の説明会	春日会長 他	ホテル穴道湖
	11月 2日(土)	看護師職能I集会(参加者56名)	津島看護師職能理事他	パルメイト出雲
	11月 3日(日)	保健師職能集会(参加者40名)	勝部保健師職能理事他	出雲保健所
	11月 8日(金)	助産師出向支援モデル事業の説明会	春日会長 他	朱鷺会館
	11月11日(月)	認定看護管理者教育機関視察	川合事業局長、田辺教育担当者	看護研修センター
	11月13日(水)	助産師出向支援モデル事業の説明会	春日会長 他	浜田ワシントンホテル
	11月14日(木)	看護出前授業(11/14:安来第2中、12/12:温泉津中、14:掛合中)	淡川中国地区理事徳若理事他	安来2中他
	11月16日(土)	看護管理者・教育者協会・連盟合同セミナー(参加者58名)	春日会長 他	ホテル穴道湖
	11月18日(月)	セカンドキャリア看護職の開発と活用のためのセミナー(参加者12名)	三代理事、板木就業相談主任	いわみーる
	11月19日(火)	常務理事会(3職能委員長合同会議)	春日会長、3職能理事他	ホテル穴道湖
	11月19日(火)	看護就業相談員地区別連絡会(11/19大田12/3浜田)	春日会長、住田・角橋監事他	ホテルさんべ、千畳苑
	11月26日(火)	監査会(上期)	春日会長、川合事業局長他	看護研修センター
	11月30日(土)	助産師キャリアアップ研修会(講師:福井理事他、参加者29)	吾郷助産師職能理事他	看護研修センター
	12月 4日(水)	訪問看護ステーション整備事業検討プロジェクト現地調査	安田所長・村土局長他	みちしるべ(高松)
	12月14日(土)	医療安全推進研修会(県との共催:参加者117名)	医療安全推進委員、島根県	島根県立中央病院
	12月19日(木)	第2回訪問看護ステーション整備事業検討プロジェクト	春日会長 他	看護研修センター
	12月20日(金)	第2回助産師出向支援モデル事業検討協議会	春日会長 他	ホテル穴道湖
12月21日(土)	3職能合同研修会(参加者35名)	津島・勝部・吾郷職能理事他	看護研修センター	

理事会報告

◆第6回理事会

【協議事項】

- 平成26年度島根県看護協会通常総会提出議題について
- 公益社団法人島根県看護協会謝金規程について
- 平成26年度「看護の日」記念のつどいについて
- 図書整備について
- 別館の改修(案)について
- その他

【報告事項】

- 島根県看護協会の動き
- 日本看護協会第5回理事会報告
- 全国准看護師制度担当役員会議報告
- 島根県看護協会上期監査報告
- 助産師出向支援モデル事業の経過について
- 訪問看護ステーション整備事業検討プロジェクト報告について
- 島根県医療従事者研修環境(TV会議システム)整備について
- その他

職能委員会活動

頑張ろう！島根の助産師～助産実践能力強化へ向けて～

助産師職能委員会 吾郷 美晴

助産師職能委員会では、平成22年度より島根県から地域医療再生計画事業の委託を受けて「助産師卒業教育プログラム」を実施しています。このプログラムは、各施設で行えていない新人助産師の教育を充実させ、将来的には助産外来や院内助産が行えるような助産実践能力を獲得することがねらいです。



9月27～29日に新人助産師研修を開催し、1日目17名、2日目22名、3日目21名の参加がありました。内容は「助産師の役割と使命」「助産診断」「産科救急」「新生児蘇生」の集合研修で、受講生からは「今後の学習意欲につながった」「現場に活かせる内容だった」等の感想があり、満足度の高い研修になりました。

11月30日には「院内助産システム開設・実施に向けての人材育成」をねらいとしたキャリアアップ研修を開催し、32名の参加がありました。日本看護協会の福井トシ子理事による「これからの施設助産師に期待されること」、島根県健康推進課の西明美氏による「島根県の周産期医療体制の現状と助産師の役割」のご講演を頂きました。受講生からは「組織的な問題解決方法が学べた」「自

施設でも助産外来企画書を早速提出しようと思った」「島根のお産を支えていく助産師であり続けたい」等の前向きな感想があり、有意義な研修になりました。

近年の産科医師不足の問題から、日本看護協会では、助産師の能力を最大限に利用するためのツールとして、今年度「助産実践能力習熟度段階(助産師のクリニカルラダー)活用ガイド」が出版されました。クリニカルラダーの目的は、助産師の助産師個人の目標を明確にし、助産実践能力を高めること、助産師個人のキャリア開発支援、適材人材活用の資料としての活用、助産実践能力の保証です。そして「クリニカルラダーレベル」については、近い将来、全国統一の基準(ALL JAPAN)で認証される仕組みの構築を目指して、検討がなされています。

助産師職能委員会では、クリニカルラダーに基づいた研修の企画を検討し、県内助産師の実践能力強化がはかれるよう、今後も積極的に活動に取り組みでまいりたいと考えています。



新カリキュラムで 認定看護管理者教育スタートしました

認定看護管理教育運営委員会 委員長 秦 美恵子

日本看護協会では2012年2月に2度目となる認定看護管理者カリキュラム基準の改定が行われました。近年、看護協会以外の設置主体も含め教育機関の課程運営に関する裁量の拡大と時代の変化に応じた教育内容の変更が求められることなどが背景にあります。

当委員会においても新しい認定看護管理者カリキュラム基準に従って、島根県の特徴を加味しながらファーストレベル・セカンドレベルのカリキュラム作成を昨年から継続して行ってきました。新カリキュラムでは、看護管理者に必要な知識の習得に留まらず、研修生が所属施設において担っている役割の中で、今まで以上に実践力の強化が求められています。

今年度は新カリキュラムでファーストレベル教育課程を実施しました。10月5日に開講し12月14日まで27日間、全県下23施設から48名の受講生が集い、学びとネットワーク作りができました。2月23日には学びをさらに深めるためのフォローアップ研修を行い、修了式を行う予定です。

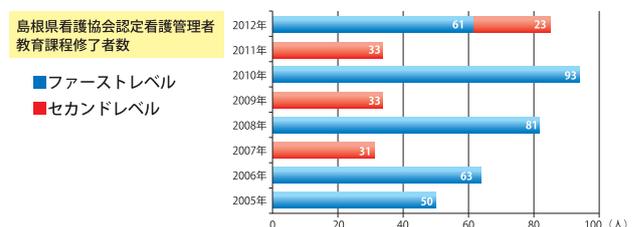
平成26年度は、毎年実施のファーストレベルと隔年実施のセカ

ンドレベルを開講します。看護管理に興味がある方、看護管理者をめざす方、看護管理者の任にある方等、是非チャレンジして下さい。セカンドレベルは4月上旬が募集期間となる予定です。

また、今年度島根県看護協会は日本看護協会から認定看護管理者教育機関のレベル保持のための審査を受けました。2014年度からは教育機関の認定更新制が導入されます。当委員会においても審査結果を受けて、受講申し込みや学習要項等の検討も行っています。みなさまからのご意見も頂きながら、活動を進めていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願いたします。

島根県看護協会のファーストレベル修了者は348名、セカンドレベルは120名です。

島根県内の認定看護管理者は12名になりました。全国では1,988名です。



支部活動

大田支部活動報告

大田支部長 今田 眞美

日頃より支部活動にご支援ご協力頂きありがとうございます。

大田支部は14施設・会員数314名・役員7名で活動しています。



第1回研修会

25年6月23日支部総会を開催、総会後の第1回研修会では「そのひとらしく生きる意味」と題して池田診療所院長の長坂行博先生による講演に会員34名の参加がありました。

糖尿病や癌についてのメカニズムなども含めた内容で、とても具体的で解りやすい講演でした。また先生のもう一つの顔であるミュージシャンとして歌も聴くことができ、とても有意義な研修となりました。



第2回研修

10月26日は第2回研修会「カイロプラクティックでできるセルフケア」と題してokaの長坂響子先生に講演と運動療法を実施して頂き

ました。参加者みんなで楽しく実施することができ、自宅でも実践できる内容で好評でした。

研修前には特定看護師のDVDを試聴し、特定看護師について知る機会になったのではないかと思います。会員のみなさまが興味を持って参加していただけるような研修会を今後も企画していきたいと考えます。

また今回初めての事業として「高校文化祭で看護のPR」と題して島根県立大田高校の文化祭に参加しました。看護師の仕事や進路などを多くの学生・先生・父兄に参加していただきました。今後も大田支部とし地域の方々に少しでも看護を知って頂ける機会を作りたいと考えます。



高校での看護のPR



出雲支部活動報告 「地域の中に看護職の輪を広げて」

出雲支部長 原 美知江

支部総会は6月22日に開催。講師は、音楽療法士の江戸晶子氏で「生きる力を回復する音楽療法・一人一人の命が輝くために」と題して行いました。「手の持つ力や温かさを改めてすごいと感じた。短時間でも癒された」と好評でした。

研修会は、10月5日に開催。テーマは、「心を開き、おもてなしの心を伝える」とし、講師は、JAL先任チーフキャビンアテンダントの半田美枝子氏でした。挨拶や表情・身だしなみ・言葉使い・態度の実技をしました。各職場で、対象者の方の心に響く、良質のおもてなしが出来ていたか。そして、マナーの基礎となる思いやりを知ることは、【自らの心の成長にも繋がる】ことに気がきました。この学びは各職場で活かせることになりました。

活動交流会は、11月9日に開催。総会のアンケートで「緩和ケア」のキーワードが多く事例を基に各グループに分かれて検討しました。グループ発表後、がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師から講評していただきました。グループ討議前に初対面の方たちで緊張も

ありましたが、「きどにたてかけし衣食住」を使い自己紹介からスムーズに話し合いができたと思います。訪問看護ステーションの方



まちの保健室 研修場面

の参加により、地域との連携、各制度の活用方法など話し合わせ情報交換もできました。

まちの保健室は、12月17日に、「働きざかりの歯、は、ハ講座」の研修を行いました。歯ブラシの配付やいつ磨くのがよいか、また歯科検診の必要性を強調。今後は、老若男女問わず、活動場所の拡大をはかり健康相談の充実化をします。そのためには結果も問われ、質の評価も必要です。また、看護職の広報、啓蒙等の機会を増やし活動を行うことでより公益性の高い活動を推進していきたいです。今年から依頼や健康相談の場も増えました。今後も皆様のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

委員会活動

平成25年度 在宅ケア・訪問看護推進委員会活動について

担当理事 佐藤 栄子

委員会活動の目玉となる今年度の研修会は、昨年度に引き続き茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター看護局長の角田直枝氏を講師としてお招きしました。都合により研修期日の変更があったにもかかわらず、多くの病院・施設から51名の参加がありました。



角田先生は、地域と病院を繋ぐ看看連携～患者・家族が安心して在宅療養を迎えるために～をテーマのもと、グループワークを取り入れた講義を展開されました。また、病院・訪問看護それぞれの立場を経験されており、どちらもの側面から具体的な事例を通してのアドバイスもいただきました。グループワークでは、活発な意見交換があり、相手の視点に立った考え方や、コミュニケーション技術の実践も学ぶことが出来ました。

講義からは、病院の中でさえも業務が細分化され、病棟外来間の連携が難しくなっている現在だからこそ、訪

問看護や、地域の関係者と顔の見える関係づくりがとても重要であることを理解し、それこそが、患者・家族が安心して在宅療養を迎えられる看護と看護の連携であることを実感しました。研修会の最後に先生の声かけでグループのメンバー同士、お互いに対し「ありがとう」と言い合ったとき、涙が出そうになったとアンケートに記入された方がおられました。また、アンケート結果からも受講者の皆様が満足されていたことが明らかであり、有意義な、そして元気が出る研修会が行えたことは委員会における何よりの成果であったと自負しております。最後になりましたが、受講者の方々が明日から早速自分で出来ることを見だし、今後の活動において積極的に動き出すことを期待し、さらに在宅ケア・訪問看護が大きく認められ充実していくことを祈念いたします。そして委員会として、今後も皆様が満足できる研修会を計画して参りたいと思っておりますので今後ともご協力をお願いいたします。



「福祉施設への訪問報告」

会員委員会委員長 山根 育子

会員委員会は、会員の確保及び会員の福利厚生等の事業推進を図ることを目的として活動を行っています。会員数は平成25年1月31日現在5,476人で、入会率47.6%となっており、平成24年の同時期と比較すると0.7%減少している状況です。支部毎の入会者の所属施設と会員数の一覧を見ると、入会者の多くは病院勤務者であり、福祉施設所属の会員は少ない状況を確認しました。

そこで会員委員会では、平成24年度から福祉施設で働く看護職の方に入会への働きかけとして、看護協会活動の紹介や入会案内、情報交換、施設職員の方との交流等を目的として福祉施設への訪問を実施しました。平成24年度は特別養護老人ホームもくもく苑(出雲市)、しらすぎ苑(安来市)、社会福祉法人梅寿会(益田市)へ、平成25年度は特別養護老人ホームみろく苑(吉賀町)、かなぎ苑(浜田市)、むらくも苑(奥出雲町)への訪問を実施しました。

福祉施設では、看護職の皆様が少ない人数で施設内の看護・介護・指導者・管理など多くの役割を担っておられました。特に介護職に対して観察の必要性・ケアの根拠

に対する教育、看護職不在時(夜間)の利用者の状態変化への対応についての教育に困難さがあるようでした。また、看護職の皆様から看護協会主催の研修について次のような意見や要望を頂きました。研修内容については「病院関係者の研修というイメージがあり参加しにくい」「施設関係者向けの研修が少ない」「できれば介護職も一緒に研修を受けたい」等でした。具体的には「施設におけるターミナルケアについて」「緊急時の対応」「感染対策」「褥瘡処置」「介護職への吸引指導」等の要望がありました。その他、看護協会入会金の負担が大きいという率直な意見も伺いました。

私達はこの2年間の活動を通じて、福祉施設の看護職員の業務内容や看護協会に対する要望を知ることが出来ました。今後、会員委員会としてはこれらの要望を他の委員会に報告し、要望の実現に向けて各委員会や各支部に協力をお願いしていきたいと考えています。

最後に、この場をお借りして訪問させていただいた福祉施設の皆様に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

トピックス

平成25年度「助産師出向支援モデル事業合同報告会」について

担当理事 徳若 光代

平成26年1月23日(木)9:30~16:30、東京都港区の青山ダイヤモンドホールにて上記報告会が開催され、15都道府県のモデル事業についての取り組み状況や工夫点等が報告されました。

本協会の報告について、会場から『取り組み状況等がとてもわかりやすかった』『県医師会や県行政等関係機関との連携が上手だと思った』などの感想をもらいました。また、新人助産師出向について「出向先に指導者はいるのか」という質問があり、「出向先には、助産師教育指導者がいる」と回答して、また出向目的は新人研修であると追加回答をしました。

この事業については、目的は何か、処遇、出向の承認・確認、出向期間中の条件等について、出向を支援する看護協会事務局や、コーディネーターの役割が重要であることを再確認、今後の次年度支援体制に活かしたいです。

この事業については、第3回協議会が2月5日に開催され、今後の計画について協議をします。

看護研修センター別館の改修

本館と別館の往来を容易にし、一体的に利用しやすいように別館(外構)を改修します。

- ①本館と別館の連絡通路をつくります。
- ②本館と別館を敷地内で地続きにするため、壁を一部撤去します。
- ③庭園を一部撤去し、別館駐車場を拡張します。

研修等案内の液晶ディスプレイが正面玄関に設置されました。

看護研修センターの事業案内がわかりやすく表示されています。また、協会事業の紹介にも活用していきます。

研修・会議案内	
所長会	会議室1 13:00~
広報委員会	会議室2 10:00~16:00
看護師職能委員会	図書室 10:00~16:00
鳥取県看護協会	

看護研修センターに電子レンジを設置しました。

会員の意見箱の要望に応じて、1階自販機の横に電子レンジを配置しました。

館内でお食事をされる時には、是非ご利用ください。



医療・看護安全情報

医療安全推進のための標準テキストが発刊されました。日本看護協会

www.nurse.or.jp/nursing/practice/anzen/

医療安全推進のための標準テキスト。チーム医療の一員として医療や看護を安全に提供するために必要な基本的考え方および具体的な取り組みや、医療事故発生後の対応等を示しております。どうぞご利用ください。



ナースセンターだより

訪問看護師養成講習会

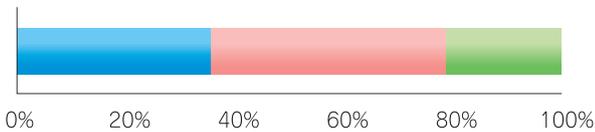
受講生14名が全課程修了いたしました



平成25年度「訪問看護師養成講習会」修了生アンケート結果 【開催日】平成25年10月30日

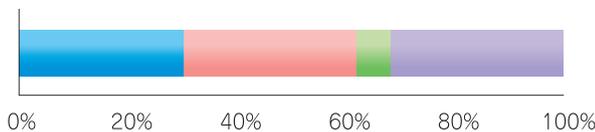
1. 自分の学習課題について

- 達成できた 5名
- ほぼ達成できた 6名
- 達成するため努力した 3名
- 達成できなかった 0名



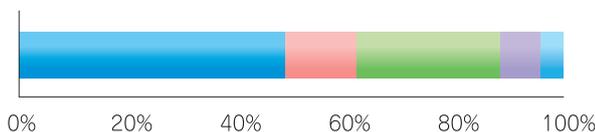
2. 講習会参加のきっかけ(複数回答)

- 協会からの通知 5
- 上司・同僚から 6
- ST 協会から 1
- その他 6
(・以前から受講したかった・友人・知人からの紹介・協会年間計画を見た)



3. どのようなことを期待して講習会に参加したが(複数回答)

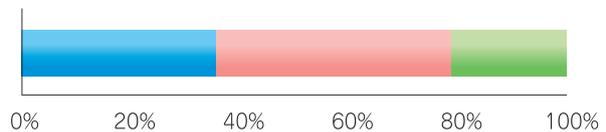
- 訪問看護の知識習得 11
- 介護保険、ケアマネジメントの知識習得 3
- 実習によりほかの施設を理解 5
- 他の職場の人との交流 2
- その他 1



4. 実習について

1) 自分自身の学習課題について

- 達成できた 5
- ほぼ達成できた 6
- 達成するため努力した 3
- 達成できなかった 0



2) 感想・意見

- 他施設の中に入ることで、地域に出向くこと、すべてが新鮮で良い体験になり視野が広がりました。
- 在宅での看護提供は工夫がたくさんあり、医療機材が沢山ある病院とは違いある物を大切に使う、コストをかけない事を学びました。
- 得た知識や思いをまとめて、繰り返し確認していくようにしたい。いい出会いがたくさんあり、専門家から話をきけることがとてもありがたく、今後活かしていきたいと思います。

5. 講習会全体を通しての感想・意見

- 長期間の日程が必要でした。色々な学びが出来、又、講習会で一緒に学んだ人達の今の現状をきく事もできました。
- 沢山の講義は訪問看護のみだけでなく、病棟においても役立つ内容でした。
- eラーニングによる受講でしたが、講義はとてものしく勉強になりました。出来ればすべての講義に出席したいですが遠方であり困難です。今後、西部でも開かれると嬉しいです。西部の訪問看護充実のためにもぜひお願いします。

ご案内

・しまね看護交流センターでおこなう
シミュレーション研修 **誰でも参加できます**

**看護職の皆様へ
安心して職場復帰できるための
技術研修会を開催！！**

会場 島根県立大学出雲キャンパス しまね看護交流センター
〒693-8550 出雲市西片町151 TEL:0853-20-0200

時間 9:00～16:00 **資料代** 2,000円

対象 ◆中・小規模病院、介護施設でスキルアップを図りたいと考えている看護職
◆復帰を考えている看護職

コース1【静脈注射】

1日目 平成26年3月17日(月) **2日目** 3月18日(火)
(原則、両日とも参加できる方)

目的: 臨床現場で安全・正確に静脈注射を実施できる看護職を育成する。
目標: 1. 静脈注射の実施における看護職の役割と責任を理解する。
2. 静脈注射の実施におけるリスクマネジメントを理解する。
3. 静脈注射を安全・正確に実施できる技術を習得し、実践能力を高める。

募集人数: 10名 **研修内容:**

内 容	
◆1日目 午前(9:00～12:00) 午後(13:00～16:00)	静脈注射における看護職の責務(講義) 薬剤に関する基礎知識(講義)
◆2日目 午前(9:00～12:00) 午後(13:00～16:00)	静脈注射の実施(講義・演習) 技術トレーニング(演習) 技術チェック

コース2【フィジカルアセスメント】

1日目 平成26年3月27日(木) **2日目** 3月28日(金)
(原則、両日とも参加できる方)

目的: 基本的なフィジカルアセスメント能力を身につけ、患者の状態を的確に判断し、看護を提供できる看護職を育成する。
目標: 呼吸・循環・脳神経のアセスメントの実施を学び、実施できる。

募集人数: 10名 **研修内容:**

内 容	
◆1日目 午前(9:00～12:00) 午後(13:00～16:00)	呼吸器系のアセスメント(講義・演習) 循環器系のアセスメント(講義・演習)
◆2日目 午前(9:00～12:00) 午後(13:00～16:00)	脳神経系のアセスメント(講義・演習) 技術トレーニング(演習) 総合演習

申し込み先: 公益社団法人 島根県看護協会ナースセンター
申し込み方法: 郵送
申し込み用紙: 看護協会HPよりダウンロードしてください。
直接お電話でもお受けします。

・臨床心理士による個別相談

島根県ナースセンターは
看護職の定着・確保のための総合窓口です!!

相談は無料!!

島根県ナースセンターでは
**臨床心理士による
個別相談**をはじめました。

◆職場での心配事がある ◆仕事に集中できない
◆眠れない ◆イライラする
◆精神的な疲労 など メンタルヘルスに関する相談

相談は無料!!

※いつでも、気軽に、まずは電話かメールで
ナースセンターへご相談ください。

- シミュレーション研修申し込み
- 臨床心理士による個別相談

どちらもお問い合わせは・・・

公益社団法人 島根県看護協会ナースセンターまで

住 所: 〒690-0049 松江市袖師町7-11
TEL: 0852-27-8510 FAX: 0852-25-3157
URL: <http://www.shimane-kango.or.jp>
E-mail: shimane@nurce-center.net

就業相談会のお知らせ

平成25年度 就業相談会(移動ナースバンク)実施表

地 域	松 江	出 雲		雲 南	大 田	江 津	浜 田	益 田
会 場	ハローワーク 松江	県立中央病院	ジョブ・ステーション 出雲	ハローワーク 雲南	大田市立病院	済生会江津 総合病院	国立病院機構 浜田医療センター 2月からハローワーク浜田	益田市総合福祉 センター
時 間	14:00～16:00		13:00～16:00					
実施日 1月～3月	2月19日(水)	2月20日(木)	2月13日(木)	2月12日(水)	2月26日(水)	2月19日(水)	2月12日(水)	2月13日(木)
	3月19日(水)	3月20日(木)	3月13日(木)	3月12日(水)	3月26日(水)	3月19日(水)	3月12日(水)	3月13日(木)

予約なしでもOK

12月からハローワーク雲南でも開催!!
出雲では、1月から会場が2か所になります。
浜田は2月から会場がハローワーク浜田に
変わります。

さらに…ナースセンターは、お仕事をさがしただけではありません!!

ベテラン就業相談員(看護職)による相談受付中

- 最近、眠れないな… ○気分がすくれない日が多いような気がする…
- 仕事に喜びが見つけられないなあ… ○職場や家庭に悩み事がある…
- 今の職場、やめようかなあ…

お困りのかたはどなたでもお気軽に相談にきてください。

ホットひといき

新生児蘇生法「専門」インストラクターに合格して

松江赤十字病院 根来川 成美



私は、周産期センターNICU・GCUで働く3年目の看護師です。今回、新生児蘇生法「専門」コースインストラクター養成講習会を受講し、合格することができました。新生児蘇生法は、出生時に胎外呼吸循環が順調に移行できない新生児に対して、心肺蘇生法をいかに行うべきかを目的としています。講習会では、インストラクター役として実技指導やシナリオ演習を行い、指導方法や演習の進め方を学びました。演習では、自分の行った指導方法を振り返ることで、自分の指導に対する傾向や癖など分かり、多くの気づきがありました。また、様々な都道府県から医療者が参加して意見交換を行うことができ、多くの方と交流することができました。

インストラクター取得後は、まず、新生児蘇生法「専門」コース開催時に補助として参加し、実際のコースでインストラクターの役割や指導方法を見学し、学びを深めました。

日々の新生児看護において、出産に立ち会う機会は少ないですが、立ち会う際には、医師と連携し、情報から判断し行動していきたいです。看護師としてまだまだ未熟ではありますが、今後も大好きな新生児看護に携えることに誇りを持ちながら、自分の技術や指導能力の向上を目指していきたいです。

INFORMATION インフォメーション

看護協会・看護連盟合同研修会

日時：平成26年2月22日(土) 13:00～15:30

場所：看護研修センター

講師：○参議院議員 石田 昌宏氏

「国会報告－診療報酬改定等」

○石巻赤十字病院副院長・看護部長

○25年度ナインゲール記章受章

金 愛子氏

「災害看護について～東日本大震災を踏まえて」

看護職のワーク・ライフ・バランス 推進好事例発表会

日時：平成26年3月5日(水) 13:00～16:30

場所：ホテル穴道湖

特別講演

講師：藤田保健衛生大学病院 副院長

眞野 恵子氏

テーマ：働きやすさを高めるための取り組み・仕組みや工夫

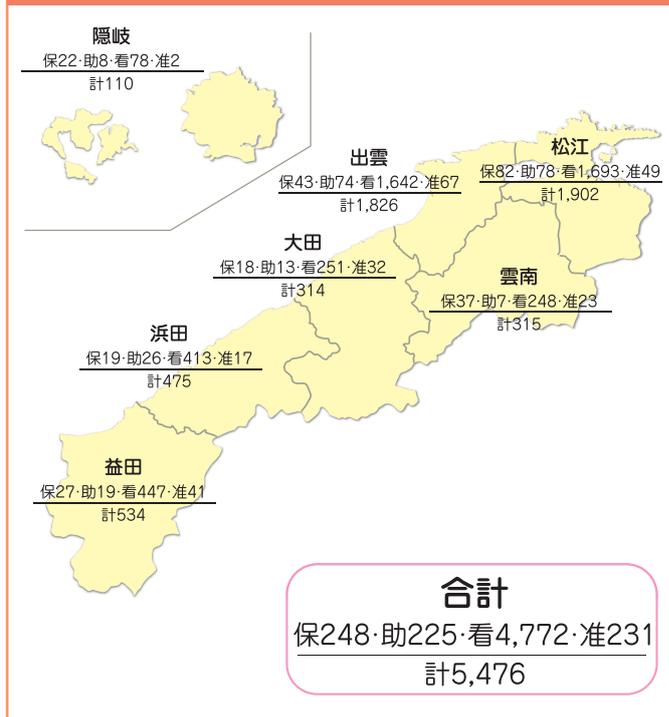
平成26年度 社会保険診療報酬改定説明会

日時：平成26年3月20日(木) 13:00～16:00

場所：看護研修センター

申し込みは日本看護協会へ直接

支部別・職能別会員数(合計) (平成26年1月30日現在)



編集 後記

新年を迎え心新たに頑張っておられることと思います。インフルエンザのウイルスに負けないよう体調を整え、今年一年元気に過ごせるようにしましょう。

